

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2005-205082(P2005-205082A)

【公開日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2005-030

【出願番号】特願2004-17152(P2004-17152)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 6/06 (2006.01)

A 6 1 B 6/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 3 G

A 6 1 B 6/03 3 2 3 Q

A 6 1 B 6/06 3 3 0

A 6 1 B 6/10 3 5 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体にX線を照射するX線照射手段と、前記被写体を透過したX線を検出するX線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段とを備え、該回転手段は、前記被写体を前記体軸方向に支持する支持手段と、前記X線照射手段によって照射されるX線照射範囲から前記支持手段を退避する退避手段とを有することを特徴とするX線CT撮影装置。

【請求項2】

前記退避手段は前記支持手段を前記体軸方向から倒すことを可能とする特徴とする請求項1に記載のX線CT撮影装置。

【請求項3】

被写体にX線を照射するX線照射手段と、前記被写体を透過したX線を検出するX線検出手段と、前記X線照射手段の照射方向に対して略垂直な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段とを備え、該回転手段は、前記被写体を立位状態で支持しつつ前記被写体の体幹部の重心と下肢の重心とを結ぶ仮想線が前記回転軸に対して傾斜して支持する支持手段を有することを特徴とするX線CT撮影装置。

【請求項4】

被写体にX線を照射するX線照射手段と、前記被写体を透過したX線を検出するX線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段と、該回転手段の停止位置を入力するための入力手段と、該入力手段によって入力された停止位置に前記回転手段の回転を停止させる制御手段とを有することを特徴とするX線CT撮影装置。

【請求項5】

被写体にX線を照射するX線照射手段と、前記被写体を透過したX線を検出するX線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転さ

せる回転手段と、物体と前記X線検出手段との接触を検出する接触検出手段と、該接触検出手段によって前記物体と前記X線検出手段との接触が検出された場合に、前記回転手段の回転を停止させる制御手段とを有することを特徴とするX線CT撮影装置。

【請求項6】

前記X線検出手段から前記接触検出手段が取り外されているか否かを検出する着脱検出手段を有し、前記制御手段は、前記着脱検出手段によって前記接触検出手段が取り外されていることが検出された場合に、前記回転手段の回転軸を回転しないように制御することを特徴とする請求項5に記載のX線CT撮影装置。

【請求項7】

前記接触検出手段はグリッドを有することを特徴とする請求項5に記載のX線CT撮影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記目的を達成するための本発明に係るX線CT撮影装置は、被写体にX線を照射するX線照射手段と、前記被写体を透過したX線を検出するX線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段とを備え、該回転手段は、前記被写体を前記体軸方向に支持する支持手段と、前記X線照射手段によって照射されるX線照射範囲から前記支持手段を退避する退避手段とを有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明に係るX線CT撮影装置は、被写体にX線を照射するX線照射手段と、前記被写体を透過したX線を検出するX線検出手段と、前記X線照射手段の照射方向に対して略垂直な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段とを備え、該回転手段は、前記被写体を立位状態で支持しつつ前記被写体の体幹部の重心と下肢の重心とを結ぶ仮想線が前記回転軸に対して傾斜して支持する支持手段を有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

更に、本発明に係るX線CT撮影装置は、被写体にX線を照射するX線照射手段と、前記被写体を透過したX線を検出するX線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段と、該回転手段の停止位置を入力するための入力手段と、該入力手段によって入力された停止位置に前記回転手段の回転を停止させる制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明に係るX線CT撮影装置は、被写体にX線を照射するX線照射手段と、前記被写体を透過したX線を検出するX線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段と、物体と前記X線検出手段との接触を検出する接触検出手段と、該接触検出手段によって前記物体と前記X線検出手段との接触が検出された場合に、前記回転手段の回転を停止させる制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】